

大学職員の意識改革

広島大学高等教育研究開発センター長
山本 眞一

大学職員の意識改革



2007. 6. 1

広島大学高等教育研究開発センター 山本眞一

大学職員問題への関心

個人的には

1. さまざまな立場で大学を見てきたこと
2. 二つの大学の事務局職員を経験したこと
3. 事務職員の実態を見て感じるところがあったこと

社会的には

1. 社会変化により大学改革が求められていること
2. 上記に対応するため大学経営専門職が求められていること

職員問題の中心課題の移動

1. 事務職員の学内での位置づけ
(立場や地位の向上運動)



2. 環境変化に対応するスタッフの必要性
(大学経営プロフェッショナルの養成)

大学職員の立場

- ◎ もはや傍観者、第三者では済まされない。
(とくに国立大学に関して)

これまでは

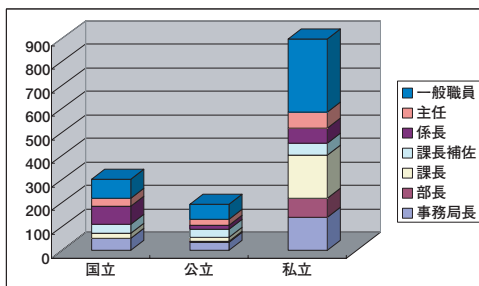
教員 ↔ 文科省・職員

これからは

教員・職員 ↔ 文科省

- ◎ 役員・教員と運命共同体になる。

全国の大学職員1400人の調査



国公私立大学で異なる職員のプロフィール

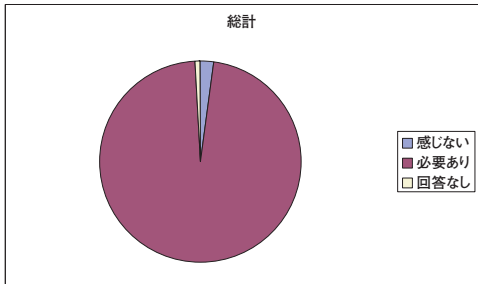
勤続年数 (単位 年)

	現職位についてから	現大学に勤務して	職員となってから	職業についてから
国立	3.3	11.8	15.4	20.4
公立	3.0	2.7	2.8	21.6
私立	4.4	12.9	14.0	20.9
全体	3.9	11.3	12.6	20.9

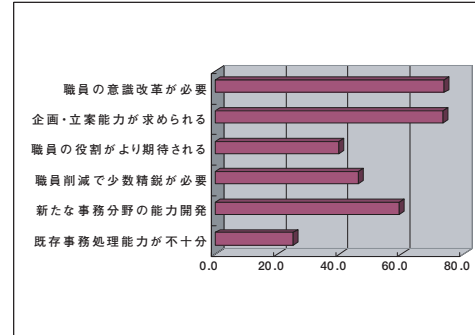
最終学歴 (総計に対する%)

	博士	修士	学士	短大	高校	中学	総計
国立	0.0	2.6	65.0	9.2	22.8	0.3	100.0
公立	0.0	4.5	67.7	10.1	17.7	0.0	100.0
私立	0.4	5.2	78.5	9.4	6.3	0.1	100.0
総計	0.3	4.6	74.1	9.5	11.5	0.1	100.0

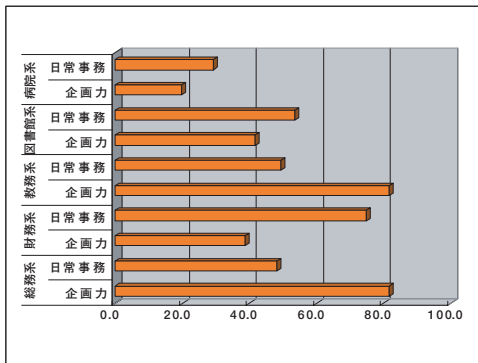
多くの職員が感じる「能力開発の必要性」



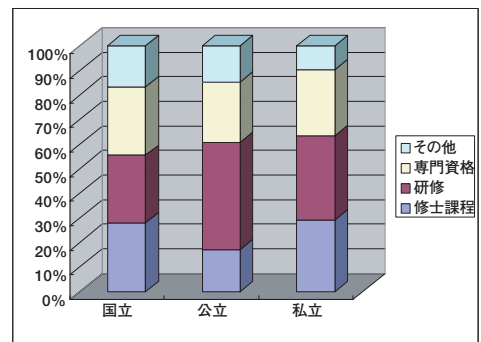
能力開発が必要な理由



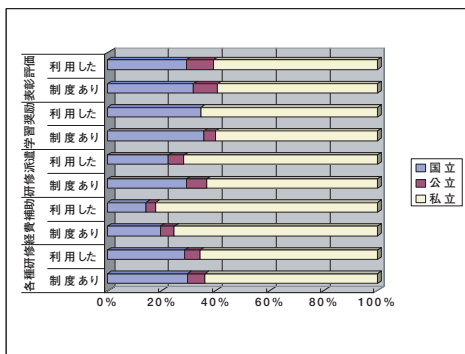
日常事務処理能力と企画力



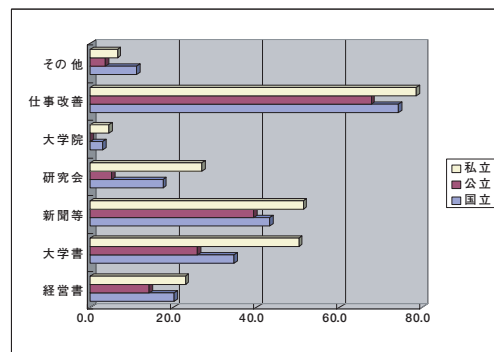
能力開発のための有効な方策



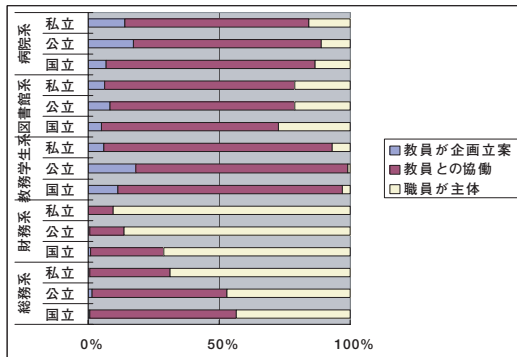
能力開発のための制度と利用実態



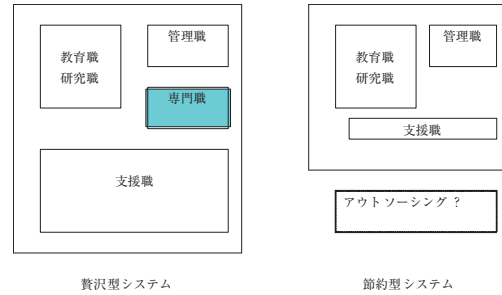
自己啓発の実践



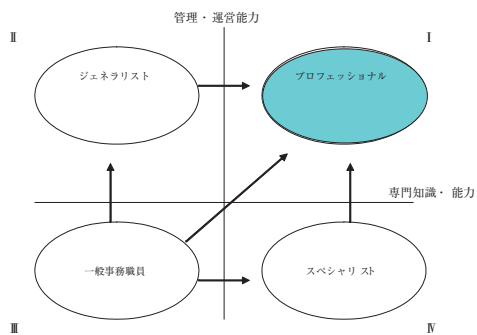
教員と職員の役割分担のあり方



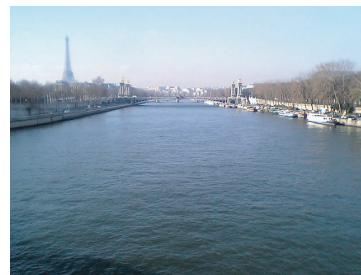
優秀な大学経営専門職の必要性



大学職員に求められる能力 ~プロフェッショナルを目指して~



職員改革なくして大学改革なし 職員も戦略思考で活躍を



終わり